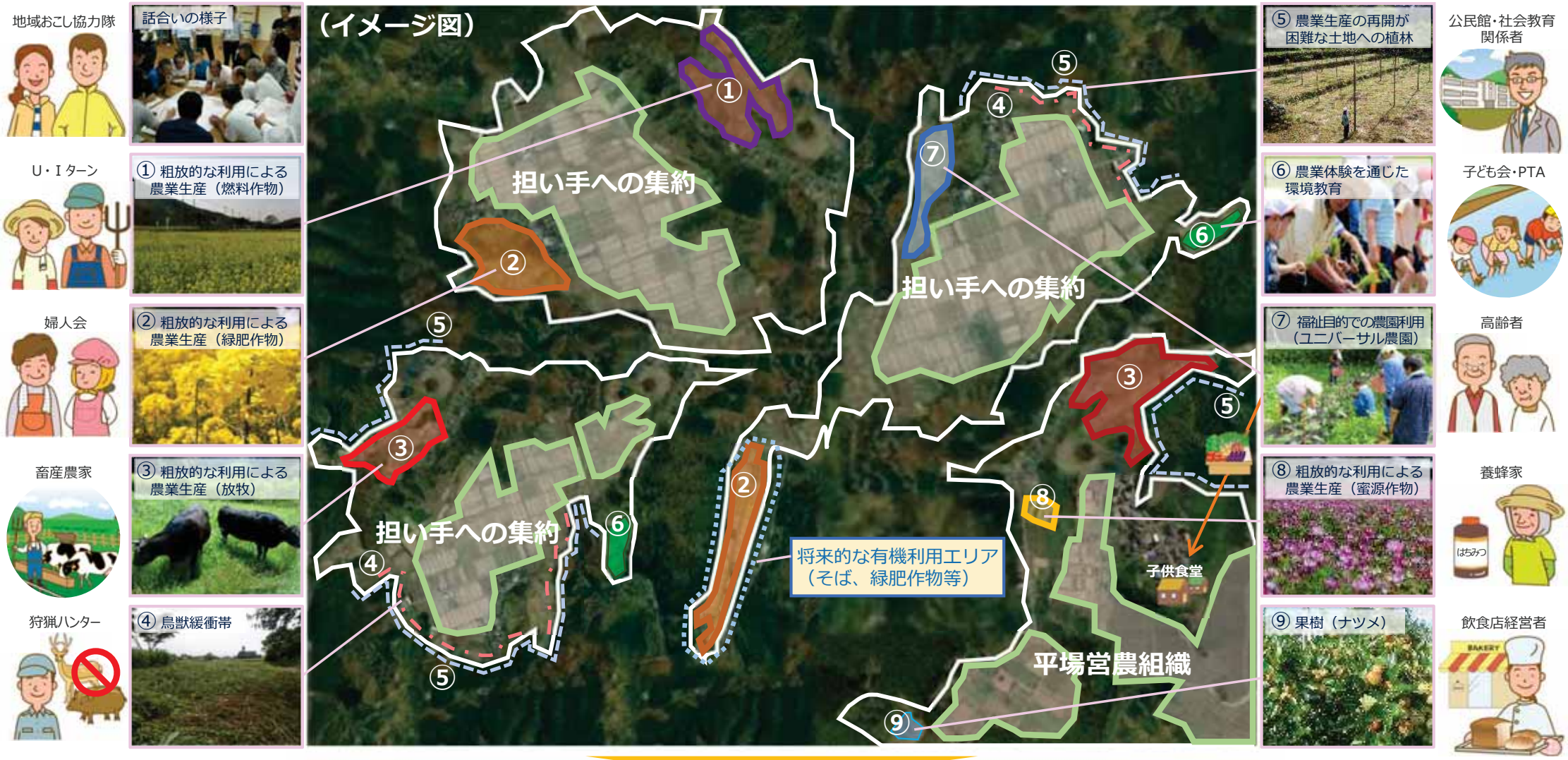
４．農村ＲＭＯにおける農用地保全活動

複数集落を対象とした持続的な土地利用（再編）のイメージ

○ 人口減少や高齢化が急速に進行する中山間地域においては、近年、更に人口減少が進行し、集落コミュニティの脆弱化が懸念されるとともに、様々な政策努力を払ってもなお農地としての維持が困難な土地が増大。

○ このため、地域の話し合いを通じ、守るべき農地を明確化し、従来の手法では維持困難な農地については、地域内外の新たな人材等を呼び込みながら、放牧、蜜源作物、緑肥作物等、省力作物による粗放的利用等により農用地を保全。



担い手への集積・集約化が困難な農地について、農村ＲＭＯを中心に農用地保全に向けた土地利用を検討

農村ＲＭＯが関係する多種多様なプレイヤー

高齢者の介護予防事業

社会・環境教育
（公民館活動）

障がい者福祉施設との連携

生活困窮者などの農園利用

新規就農者

地域おこし協力隊

婦人会による特産物づくり

地域企業のCSR活動

地域の農地を有効活用

生きがいづくりの場

交流の場

緑肥作物／有機農業の取組

養蜂家と連携した蜜源作物

放牧の取組

手間のかからない作物の植栽

鳥獣緩衝帯として利用

計画的な植林